

ひと・夢・まち 町長コラム

「ありがとう」って 言われるくらい やっていますか？（令和元年9月号）

（西郷どんの教え vol.4）

この教えの本文は、「万民の上に立つ者は」を問うている一文です。

国民の上に立って政治を行う者は、先ず以って己を常に省みて、自分の行いを正しくし贅沢や奢りに流されず、節約をして無駄を省き仕事を立派に果たさなければならない。そして人民の模範となって、・・・と、記されています。

これを小・中学生向けに言い換えると、「学校やクラスで係の仕事を持つ人は、いつも友達への思いやりを持ち、正しい行いをし、勉強をがんばって、他の友達の手本となるように進んで行動することが大切だよ。そして、そんな君を見ている他の友達が、『いつも僕たち、私たちのために進んで動いてくれてありがとう』と思われるくらいでなければ、学校やクラスはまとまらないものだよ」と教えています。

改めて我が身を振り返ると、まだまだ未熟です。

先日、駅前の広場（道路）で、近所の幼児とキャッチボールをしていたところ、私が後逸してしまい、ボールは止まっていた自動車に当たりお叱りを受けました。いくら子供用のボールとはいえ、不注意ではなく、この教えのごとく私の倫理観の問題であると深く反省しました。（申し訳ございませんでした。）

改めてこの教えを心に刻み皆さんと共に歩んで参りたいと思っています。